

報告者：久木留 毅（文学部教授）

## ■ラフバラ大学研究拠点活動報告

No.10

7月3日(水)

### ■ National Identity and Sport in Post-Conflict/Fractured Societies

ハマード(スポーツマネジメント学科講師)のインフォメーションにより、カンファレンスに参加。スポーツを通じた国際開発を考える上で有益なカンファレンスであった。また、ネットワークを広げる意味でも有益であった。



7月5日(金)、6日(土)

### ■ 大学オープンキャンパス視察



大学学事歴を把握しておくことで、普段は入れない場所への入室もできるため有益であった。スポーツ以外の分野における活動も垣間みることができた。さらに、ネットワーク構築に使うこともできると考えられた。

7月17日(水)

### ■ Running Project/デザイン学部

デザイン学部で実施しているブラインド・ランニングのプロジェクト視察。先日、第2ラグビー場で知り合い、先方よりオファーがきた。今後の障害者スポーツにおけるサポートを考える上で有意義な視察となった。



7月18日(木)

### ■ Ian とのミーティング

東京での活動報告(カンファレンス、ミーティング)、その後のプロジェクト等の進捗状況を確認し、今後の方向性について微調整を行い、関係各所に連絡を入れた。

7月21日(日)

### ■ エミレーツスタジアム視察

スタジアム視察は、研究活動の一環として実施している。今後の大学スポーツの位置づけを考える上でも有益な情報収集の場である。その点から今回も多くの情報を得ることができた。

報告者：久木留 毅（文学部教授）

7月23日(火)

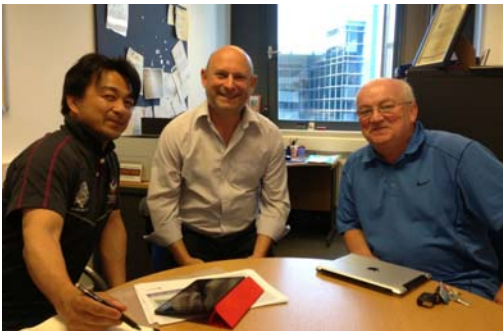
■ 金沢医科大学医学部基礎医学生理学Ⅱ研究室 谷田 守 先生来訪



自立神経と血圧の専門家である谷田さん来校。基礎研究分野について話を聞くと同時に、スポーツ界の現状について情報提供を行った。最先端の研究分野からのレクチャーは、スポーツ分野にも応用できる事象も多く更に情報交換を実施していきたい。

7月24日(水)

■ Ian、Andy とのミーティング



イアン・ヘンリー教授、アンディ・ボリーSDC 副部長とのミーティングは、収集した大学内の情報を確認する上でも貴重な機会である。さらに、忙しい二人からミーティング時に得られる新しい情報も有益である。

7月29日(月)

■ JSC アンバサダー佐藤真海氏来校

スタジアム等を見学。昼食後、陸上競技場を訪問。許可を得て室内を見学。パワーベース見学、EIS 訪問、EIS Nic Diaper(スタッフ)の案内で研究所内見学および意見交換。ラフバラ大学リハビリテーション室見学。ピーターハリソンセンター(障害者スポーツセンター)見学。バリー・フリーハンとの面会。SDC センター内見学およびスタッフとの意見交換。JSC 情報政策拠点センター見学および意見交換。



中でも日本と英国との現状における差について、EIS Nik と意見交換できたことは、彼女にとって有意義であった模様。彼女は、2020 東京オリンピック・パラリンピック招致の最終プレゼンターであり、有益な情報を提供することができた。

.....  
■ まとめ

英国に来て 4 ヶ月が過ぎた。この間、ラフバラ大学関係者とのネットワークについては、かなり構築できてきた。さらに深いコミュニケーションを取っていきたい。